

ガバナー月信 3月号

Rotary
第2750地区奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

Governor's message

国際ロータリー第2750地区 2021-22年度ガバナー

三浦 眞一

奉仕の循環が世界を救う

2021-22 Governor,
Rotary International
District 2750

Shinichi Miura

2021-22年度の最大のイベントであります地区大会の日程が、オミクロン株のまん延により2月から5月へ変更を余儀なくされ、多くの会員の皆様に大変ご迷惑をおかけいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。これも2年ぶりに会員の皆様とお顔を合わせ、共に語り合いたい一心での変更とご理解ください。田辺隆一郎地区大会実行委員長はじめ委員の皆様、お手伝いをいただいておりますすべての皆様のご努力に心より御礼申し上げます。5月12日木曜日・13日金曜日には、必ずや会員の心に残る地区大会を成功させていただきますので、ロータリアン、ロータリーファミリーの皆様のご参加をよろしくお願い申し上げます。

1月15日に発生したトンガ沖海底火山の大噴火と津波による飲み水の汚染は、人命への影響も心配されております。また多くの国民が家を失い、トンガのヌクアロファ・ロータリークラブ（RC）も機能不全の状態にあります。人口約10万人のトンガ王国ですが、東日本大震災の時には900万円の寄付を送っていただきました。今回は我々がトンガの皆様の援助のために立ち上がるべきと考え、国内34地区のガバナーが足並みをそろえて寄付のお願いをいたしました。地区内各クラブのご寄付は、トンガ・ヌクアロファRC所属のニュージーランドの地区を経由してお届けさせていただきます。

世界では5億3,500万人の子どもたちが、災害や紛争、不安定な情勢など、緊急事態下の国や地域で暮らし、そのような地域では子どもたちは最も脆弱な立場に置かれているといわれています。我々ロータリアンは、トンガの子どもたちの状況をいち早く察知し救いの手を差し伸べる必要があります。そして、救いの手をさらに全世界へ広げ、子どもたちが安全な環境の中で未来へ向かって羽ばたける活動を続けていく必要があります。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

3月は「水と衛生月間」です。世界には、安心して飲める飲料水の確保、清潔なトイレの確保、伝染病から身を守るなど、人が人として生きていくための環境衛生を整える支援が必要な国や地域がまだまだたくさんあります。日本では当たり前のことが、世界に目を向けるとまだまだ支援が必要です。地区内でもいくつかのクラブがグローバル補助金を活用して、協同で支援を行っていますが、まだまだ支援を必要としている地域すべてにいき届いてはいません。地区奉仕プログラム委員会が実施いたします「奉仕のつどい」へご参加いただき、支援を行うための手法を学び、手を取り合って世界へ向けての支援の輪を作っていただきたいと思います。

「奉仕の心でつながろう 地域と世界と」を実践する時が来ました。

水と衛生月間

安全な水と衛生設備の利用は、すべての人がもつべき権利ですが、汚染水で病気になる人や命を落とす人が後を絶ちません。子どもたちは、水汲みなどの労働によって学校に通えず、つらい境遇を強いられています。

ロータリーでは、安全な水と衛生設備を提供し、衛生や伝染病予防に関する教育を行うことで、コミュニティ全体の生活を改善し、子どもの就学を高めています。

また、会員の世界的ネットワークを通じて、世界各地の人々と協力して教員研修やカリキュラム作成を行うだけでなく、家庭と学校の水・衛生設備の改善を通じて、子ども（特に女子）への教育を改善しています。

そして、ロータリー財団は、地元や海外でのプロジェクトや活動のための補助金を提供することで、世界に変化をもたらしています。



タイにおける浄水器設置事業

東京八王子西ロータリークラブ 国際奉仕委員会 委員長 平沼 北斗

国際奉仕委員会の継続事業である「東京八王子西ロータリークラブ（RC）による国際ロータリー（RI）第3350地区（タイ Bangkok Area）からの要望による浄水器設置プロジェクト」について、「水と衛生月間」に関連してご紹介いたします。

第3350地区バンコク近郊のノンケーム市（バンコク中心地より20kmほど離れた地域）の貧困地域と、その周辺の幼稚園および小学校の水環境は劣悪な状態にあります。土壌汚染や古い水道管により不衛生かつ石灰が水に混じった水質のため、白く濁った水を、飲用や給食に使っています。この水を子どもたちが生活するために摂取することは危険であり、子どもたちは慢性的な下痢や腹痛に悩まされ、酷い場合は命を落とすこともあります。そこで、本プロジェクトでは、地元のノンケームRCの協力を得て、浄水器をインストールすることで、衛生的で安全かつ安心して飲用できる水を、次世代を担う子どもたちに提供し健康維持の一助とするために実施しました。また、本事業は7つの重点分野のうち「水と衛生の月間」に資する施策でもあります。

プロジェクトに参加するロータリアンの数（贈呈式含む）は約100人、恩恵を受ける人数約6,000人と考えております。

そして本プロジェクトにおけるロータリアンの関わり方としては、

- 1) 貧困地域の浄水器をインストールする幼稚園および小学校の現状把握のため、水質検査を行うこと。
- 2) 幼稚園の園長や小学校の校長や役所・主務官庁、父母会からの聞き取り調査を行う。
- 3) 浄水器設置業者の選択と設置が完了するまでの管

理と設置後の定期的な聞き取り調査を行う。

などです。

実際の贈呈式には、国際奉仕意識高揚のため、当クラブのロータリアンおよび第3350地区ガバナーをはじめ、近隣クラブからも多くのロータリアンが出席しました。

貧困地域は、行政サービスから取り残され、インフラも整っていないことが多く、上下水道の環境も劣悪です。本事業では、上水道および井戸水や湧き水を浄水器を通して、安全で安心できるクリーンな水を、子どもたちと貧困地域で暮らす父母をはじめとした多くの生活者にも利用してもらい、永続的な健康維持を行うことを期待します。

タイは、アジアでも有数の仏教国で、国民の95%が仏教徒。寺を中心に村や町が構成されていて、学校や幼稚園もお寺に隣接していることが多く見受けられます。人々の生活の中心はお寺であり、お寺を通して地域社会の情報伝達が行われています。したがって本プロジェクトもお寺を通じて、学校や父母会、行政など広く地域社会に広報活動を行ってまいります。





地区の星を探して



“せいせきハニープロジェクト”の活動

東京多摩ロータリークラブ 幹事 石塚 悦信

多摩川にかかる関戸橋のもとに多摩市立多摩中学校があります。昨年の春にその学校で養蜂を始めたいとの話を耳にしました。養蜂は主に、チャレンジ部という部活と情緒に障害のあるクラス、F組の子どもたちが携わることになります。サポートする学校サイドにはミツバチに詳しい元校長先生、現校長先生、職員、その他に地域学校協働本部という保護者OBの会、近隣住民が一緒になり活動をしています。地域学校協働本部はPTAとは違い、第三者の立場で、常に学校内で生徒、教員の支援をしています。そのため、生徒や教員が卒業や異動しても、この組織が継続した活動の支援を行います。経験が物をいう養蜂にはこのような存在が欠かせません。

ただ単に、蜂の飼育、ハチミツの採取が目的なのではなく、中学生が生き物に触れ、地域の人と協力しながら、ハチミツで多摩の桜ヶ丘地域を活性化させたい、そんな思いが詰まった構想を「せいせきハニープロジェクト」と称することになりました。我々のクラブも満場一致でこの活動を後押しして、支援していきたいと資金面や活動で参加させてもらうことになりました。

3月にミツバチが3箱納品され、4月に一番初めの蜜を採取しました。蜜のたまった巣の蓋をナイフで切り、巣版を遠心分離機にかけてハチミツを絞り出し、瓶詰して、ラベルを貼りました。そして最後には桜の満開の季節を凝縮した香りの蜜を賞味し、自然の恩恵を身近に中学生が感じられる最高の活動となりました。

その後も1か月に1度のペースで継続して採蜜し7月には京王聖蹟桜ヶ丘の京王デパートの朝顔市で中学生が販売も行いました。その後はコロナの影響で、販売場所も限られ、思うような活動ができなくなりました。またミツバチも秋にはスズメバチの襲来、巣に着くスミス、ダニの寄生など、内外の攻撃により、ミツバチは壊滅的な被害に遭い養蜂活動は終了しました。ハチミツは多摩市役所協の物産展や、地元の「小山酒店」でスペースを借りて販売してきました。そのような活動から、次年度の運営は自前で活動できるとの報告を受けています。

ロータリー財団の補助金を受けて行う活動は、継続支援に活用するのではなく、年度で切り替えて活用しなければならないので、このように、スタートアップの資金として活用しその後は、当該者が独立して活動できるよう支援できたことは理想的な奉仕活動だったと手前味噌ながら実感しております。



◀ 朝顔市でハチミツを手にする校長先生



国際ロータリー第2750地区会員数報告 - 1月分 -

District 2750 Membership Report January 2022

クラブ名	例会	会員数			クラブ名	例会	会員数			クラブ名	例会	会員数		
		21年7月1日	22年1月末	増減			21年7月1日	22年1月末	増減			21年7月1日	22年1月末	増減
千代田グループ				東京城西	2	57	56	-1	東京小金井	3	38	39	1	
東京南	3	189	187	-2	東京西南	3	40	39	-1	東京国分寺	1	37	37	0
東京芝	4	58	60	2	東京原宿	2	14	15	1	東京三鷹	2	39	40	1
東京新橋	3	53	52	-1	東京杉並	3	38	38	0	東京昭島	2	51	51	0
東京赤坂	4	46	51	5	東京神宮	3	24	23	-1	東京国立	3	42	40	-2
東京みなと	3	32	32	0	東京恵比寿	3	108	107	-1	東京立川こぶし	1	86	87	1
東京麻布	3	13	15	2	東京広尾	4	26	27	1	東京井の頭	1	23	26	3
東京グローパル	3	19	21	2	東京渋谷	3	35	34	-1	東京昭島中央	2	48	48	0
東京サンライズ汐留	3	16	17	1	東京六本木	3	53	54	1	東京武蔵国分寺	2	40	41	1
銀座・日本橋グループ				東京愛宕	3	31	31	0	東京小金井さくら	3	29	29	0	
東京銀座	3	185	182	-3	山の手西グループ				東京国立白うめ	2	16	17	1	
東京日本橋	3	194	196	2	東京世田谷	3	41	40	-1	東京ピースウイングE	4	21	22	1
東京築地	3	70	71	1	東京目黒	3	33	33	0	多摩東グループ				
東京日本橋東	2	42	40	-2	東京成城	2	15	16	1	東京府中	1	51	53	2
東京中央	3	194	197	3	東京世田谷南	2	87	88	1	東京調布	3	60	62	2
東京日本橋西	3	44	44	0	東京城南	2	15	25	10	東京多摩	3	17	17	0
東京銀座新	3	76	77	1	東京山の手	4	70	71	1	東京稲城	2	26	26	0
東京シティ日本橋	3	31	31	0	東京成城新	2	30	31	1	東京武蔵府中	2	39	36	-3
東京中央新	3	56	58	2	東京青山	1	16	15	-1	東京たまがわ	3	17	14	-3
東京あけぼの	2	19	20	1	東京自由が丘	3	14	14	0	東京多摩グリーン	2	26	26	0
東京山王	2	37	36	-1	東京米山友愛	3	37	38	1	東京調布むらさき	0	64	65	1
東京パリアフリーマインド	2		19	19	東京米山ロータリーEクラブ2750	2	35	35	0	東京iシティ	2	18	19	1
京浜グループ				東京代官山	1	26	27	1	パシフィック・ペイスグループ					
東京羽田	1	51	51	0	多摩南グループ				Guam		51	53	2	
東京品川	3	41	39	-2	東京八王子	3	59	60	1	Saipan		44	48	4
東京大森	2	31	33	2	東京町田	4	57	66	9	Tumon Bay	2	60	63	3
東京品川中央	2	28	26	-2	東京日野	3	31	32	1	Northern Guam		31	32	1
東京田園調布	3	44	44	0	東京八王子西	3	107	107	0	Pohnpei		16	16	0
東京港南マリン	3	17	16	-1	東京町田・中	3	23	23	0	Palau		16	16	0
東京大崎	3	24	25	1	東京八王子東	4	34	34	0	Guam Sunrise	3	14	16	2
東京蒲田	3	66	62	-4	東京八王子南	3	76	77	1	Truk Lagoon		8	8	0
東京京浜	1	24	24	0	東京町田サルビア	1	35	36	1	Pago Bay Guam E		25	25	0
東京田園調布緑	1	18	18	0	東京飛火野	3	21	22	1	国内88クラブ計				
東京白金	0	27	27	0	東京町田東	2	29	27	-2			4,226	4,282	56
東京高輪	0	20	22	2	東京八王子北	4	42	42	0	地区97クラブ計				
山の手東グループ				多摩中グループ								4,491	4,559	68
東京西	3	196	188	-8	東京立川	3	118	123	5					

ガバナーエレクトが招集する研修行事

地区チーム研修セミナー

2月(2月17日開催)

ガバナー補佐と地区委員長が各自の役割と責務を理解し、地区目標と地区リーダーシップ・プランを立てる。

会長エレクト研修セミナー(PETS)

2月または3月(3月24、25日開催予定)

クラブ会長エレクトが、会長としての責務を理解し、ガバナー補佐とともに年度目標を立てる。

地区研修・協議会

3月～5月(PETSの後)(5月11日開催予定)

会長エレクトがリーダーシップのスキルを伸ばし、ほかの次期クラブリーダーが各自の役割を理解する。クラブのリーダーシップチームが次年度の目標を立てる。

()内の日付は2022年開催日程。

編集後記

荒木 賢一 (東京南RC)

コロナ禍のこの2年、ガバナー月信の英訳を担当しています。翻訳作業は英語ネイティブの者と一緒に行っていますが、昨年度はロータリー用語がよくわからず、諸先輩方に正しい訳語を教えてくださいました。2年目の現在、いまだ訳語には毎月悩んでいます。月信にでくる文章のうち、決まった訳語(定訳)がある場合、「ロータリアンの手引き」を参照し、さらにオフィシャルサイトも参考にしています。ただ定訳が見当たらない場合、この訳語で大丈夫かなと思いながら毎回提出しています。翻訳作業のなかで今でも気づくことや発見があり、翻訳を通じてロータリー活動の奥深さに驚かされています。

国際ロータリー第2750地区 2021-22年度 ガバナー 三浦 眞一

Rotary International District 2750 2021-22 Governor Shinichi Miura

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750
KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行 ガバナー 三浦 眞一 (2021-22) Shinichi Miura 2022

編集・制作 ガバナー月信・年次報告委員会

委員長 諸星 宗幸 (東京八王子西) 委員 石川 和子 (東京中央新) 竹平 時彦 (東京大森)
副委員長 二神 典子 (東京築地) 渡辺 和彦 (東京銀座) 荒木 賢一 (東京南)
浅川 立憲 (東京八王子西) 太田 智 (東京中央) 須賀川 誠 (東京銀座)

第2750地区ホームページ

<https://www.rid2750.org>

